

事務事業名		大船渡市少年センター運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																				
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																					
	施策名	0 6 ともに支え合う地域づくりの推進		区分																					
	基本事業名	0 5 青少年健全育成の推進		単年度繰返																					
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																					
所属	部課名	保健福祉部子ども課		【開始年度】																					
	課長名	伊勢 徳雄		-																					
	係名	子ども福祉係	電話	0192-27-3111																					
	担当者	田村 勇貴	内線	193																					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
福祉事務所内に少年センターを設置し、専従の専任少年補導委員と、市内の防犯協会等から推薦されて委嘱している少年補導委員が、市内を巡回してパトロールと青少年の補導を行う。センターでは、電話や面談による相談を行う。				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
国庫支出金																									
都道府県支出金																									
地方債																									
その他																									
一般財源																									
事業費計(A)	0																								
正規職員従事人数																									
延べ業務時間																									
人件費計(B)	0																								
トータルコスト(A)+(B)	0																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 市内の巡回補導、相談窓口の開設。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 開所日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 開所日数	日	イ		ウ	
名称	単位								
ア 開所日数	日								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 市内の巡回補導、相談窓口の開設。									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内の青少年	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 人口(7歳以上20歳未満)</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 人口(7歳以上20歳未満)	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 人口(7歳以上20歳未満)	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 補導関係機関等と連絡協力を図り、青少年の非行防止及び健全育成を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 地域ぐるみで青少年健全育成活動を行うという市民意識の啓発。 青少年の非行防止、健全育成の推進。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 巡回補導日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 巡回補導日数	日	シ		ス	
名称	単位								
サ 巡回補導日数	日								
シ									
ス									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	2,359	2,323	2,664	2,664	2,664	2,664	
	事業費計(A)		千円	2,359	2,323	2,664	2,664	2,664	2,664	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	
		人件費計(B)	千円	80	80	80	80	80	80	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,439	2,403	2,744	2,744	2,744	2,744
⑤活動指標		ア	日	243	242	243	243	243	243	
⑥対象指標		カ	人	3,284	3,158	3,072	3,072	3,072	3,072	
⑦成果指標		サ	日	234	230	200	230	230	230	

事務事業ID	0240	事務事業名	大船渡市少年センター運営事業
--------	------	-------	----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	増加する少年非行に対応し、青少年の健全育成を図るため、昭和47年から少年センターを設置し、補導、相談活動を実施している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	インターネットやSNS等の普及による情報化社会の進展に伴い、屋内型の非行・犯罪を始め、違法行為を行う少年の増加や低年齢化が進んでいる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	少年補導委員の推薦団体から、今後少年補導委員を一定数推薦することは年々厳しくなるとの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 青少年の健全育成に寄与するため、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 犯罪を防ぐには、行政、警察、地域が協力して対応する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 青少年健全育成の事業として対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 市の機関としてはおおむね十分な巡回補導を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 青少年の健全育成の促進に影響を及ぼす可能性がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、少年補導委員に対する謝金と専任補導委員(会計年度任用職員)1名の人件費が主であり、事業費の削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 専任補導委員以外の職員は最低限の事務のみ行っているため、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 巡回によって犯罪抑制効果があり、全ての市民が恩恵を受けている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	青少年の犯罪防止の中核となる事業であり、今後も専任職員を中心に少年補導委員による巡回指導などの活動を継続する一方で、補導委員の確保が難しくなっていることや、犯罪形態の変容等から、センターの在り方について見直しを行う必要がある。